

(令和5年2月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>2月の総入荷量は、前年同様、冷え込みが続き多くの品目において生育が停滞したため、前年同月並みであった。総取扱金額は、野菜においては前年より多かったが、果実において入荷量・単価ともに減少したことが影響し、前年同月比で9%下回った。今後は気温上昇により生育は回復し、安定した入荷が予想される。</p> <p>3月は、近郷野菜では、菜の花が最盛期を迎え、たけのこや木の芽の入荷が始まる。果実では、不知火やせとか等の中晩柑類のほか、いちご類が最盛期を迎える。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月比で3%上回り、単価は3%下回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は5%下回った。</p> <p>葉菜類の入荷量及び単価は前年同月並みであった。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は13%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は28%下回った。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は需要が低かったため9%下回った。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は14%上回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は下位等級が多かったため18%下回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で12%下回ったが、単価は前年同月並みであった。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は48%上回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<b>【根菜類】</b>	
長だいこん	鹿児島、徳島、長崎を中心に、和歌山、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で26%上回り、単価は21%下回った。
西洋にんじん	鹿児島を中心に長崎、愛知、熊本、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は45%上回った。
<b>【葉菜類】</b>	
はくさい	兵庫、長崎、茨城、愛知、滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は13%上回った。
キャベツ	愛知を中心に兵庫、大阪、滋賀、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は11%下回った。
ほうれんそう	福岡、京都を中心に茨城、和歌山、滋賀などからも入荷した。入荷量及び単価は前年同月並みであった。
レタス	長崎、兵庫、徳島を中心に岡山、愛媛などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は15%下回った。
<b>【果菜類】</b>	
きゅうり	宮崎を中心に高知、徳島、佐賀、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は3%上回った。
なす	高知を中心に岡山からも入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は3%上回った。

<p>とまと</p>	<p>熊本を中心に福岡、佐賀、三重、岐阜などからも入荷した。入荷量は前年同月比で10%上回ったが、単価は需要が高かったため8%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎、高知を中心に鹿児島、韓国、沖縄などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%上回ったが、単価は前年同月並みであった。</p>
<p><b>【土物類】</b> ばれいしょ (メイクイン含む)</p>	<p>北海道を中心に鹿児島、長崎、徳島からも入荷した。入荷量は前年同月比で10%上回り、単価は47%下回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>北海道を中心に静岡、兵庫、長崎、中国からも入荷した。入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は37%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に香川、福岡、大分、静岡からも入荷した。入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は需要が高かったため21%上回った。
伊予かん	愛媛から入荷した。入荷量は前年同月比で34%下回り、単価は15%上回った。
不知火	和歌山を中心に愛媛、佐賀、福岡、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は5%下回った。
富士 (サン富士含む)	青森を中心に岩手、秋田からも入荷した。入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は24%下回った。
玉林	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は11%上回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で12%下回ったが、単価は前年同月並みであった。
アールスメロン	静岡を中心に高知、メキシコからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は38%上回った。